

長岡聾学校通級指導教室及びサテライト教室の紹介



1 教室設置の経緯

聾学校の幼稚部を修了して小学校へ入学すると、難聴の子どもたちの多くは地域の「きこえの教室」や「ことばの教室」に通級します。そこで、発音や聴き取りの練習、教科の学習の補充などの支援を受けています。ところが、中学校に進学するとそのような支援の場はどこにも見つからないというのが、かつての姿でした。平成8年度当時長岡市では「ことば・きこえの教室」の保護者の皆さんが「中学生になっても支援してくれる場が欲しい」と訴え、中学生の支援についての学習会を開き、行政への働きかけを続けた結果、5年後の平成13年度に「中学生のための難聴通級指導教室」が開設される運びになりました。文部省(当時)の第7次定数改善計画が偶然にも重なり、教室は長岡聾学校に設置されました。

(現在は、中学生だけでなく、長岡市以外の小学生も対象としています。)

2 運営の基本方針

- ・通常の学校に在籍する難聴児童生徒を対象とし、その学校での適応を支援することを目的とする。
- ・保護者および在籍校の担当者との連携を重視し、必要な情報提供に務める。
- ・聾学校支援センター部として、軽度中等度難聴児童生徒を対象とした教育相談活動にも力を入れていく。

3 主な指導内容

- ・教科の補充学習 希望のある教科を中心に、教科の基本事項の確認
- ・障がい認識(自己理解)の促進 難聴に関する知識を得ることと、自分を振り返る機会の設定
- ・聴覚学習・発音 聴き取りの能力の向上と安定、より滑らかな発音
- ・コミュニケーションの学習 会話場面でのスムーズな応答
- ・進路選択に関する学習 進路選択に関わる情報提供、面接練習、リスニング対策

4 サテライト指導・相談

平成14年度からは、県立学校内に設置された通級指導教室として、長岡市とその近隣のみならず、中越地区全体を見据えて、教育相談活動を展開するために「サテライト指導・相談」を開始しました。これは、「難聴学級や難聴通級指導教室」を持たない地域の教育委員会やことばの教室設置校の協力を得て、定期的に、教育相談活動を実施するものです。通常の教育の中で学ぶ児童生徒及びその保護者、さらに在籍校のニーズにこたえるものであり、特別支援学校のセンター的役割を担う一つの取組です。

1 対象

- (1) 中越地区の中学校在籍生徒で、聴覚障害がある生徒
- (2) 中越地区の小学校在籍児童で、聴覚障害がある児童

2 方法

- (1) 難聴通級指導教室が措置されていない地域の難聴児童生徒について、定期的に言語通級指導教室設置校または在籍校を会場として相談業務を行う。
- (2) 当通級指導教室に措置されている児童の在籍校へ訪問し、学習参観と個別面談を行う。
- (3) 聴力管理の観点から聴力検査や補聴器のメンテナンスを推奨する。

3 実施方面(現在)

設置教育委員会の旅費負担のもとに、下記の学校を訪問し、小中学生の指導・相談にあたる。

- (1) 魚沼市立堀之内小学校
- (2) 南魚沼市立城内小学校